

消防団

広島県消防ポンプ操法競技大会 比和方面隊が出場

火災現場における消防団員の基本的動作、器具操作、そして放水技術の向上を目的にした広島県消防ポンプ操法競技大会が9月7日、広島県消防学校（広島市安佐北区倉掛）で開催され、広島県内の19市町の代表22チームが出場しました。

庄原市からは、昨年8月に行われた庄原市支部大会で優勝した比和方面隊第2分団第2部（三河内地域）が出場。地元団員や後援会、地域住民など約140人が応援に駆けつけました。比和方面隊は、今年の3月から本格的な訓練を開始し、近隣市町の消防団を視察するなど、工夫を重ねながら長期間の訓練に取り組んできました。すべて

庄原市消防団

団員募集 !!



消防団は本業の仕事を持ちながら、地域の消防防災の要として消火活動はもちろん、災害時には警戒、避難、救助など市民の安全安心を守る組織です。私たちのまちを守るため、一緒に活動しませんか。

全国的に女性消防団員が増えていています。庄原市でも3人の女性が消防団員として、活動しています。女性の方も積極的な入団をお願いします。

詳しくは、危機管理課または各支所企画調整室までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

危機管理課危機管理係

☎0824-73-1206



緊張の操法開始前



筒先員交代！



選手・応援団員が一丸

出し切り競技を終えた選手は涙ぐみながら「いろいろな面で支えていただき、ありがとうございます」と、声援に答えていました。
訓練の指揮を執ってきた梅津孝晴比和方面隊長は「庄原市消防団の代表というプレッシャーをよくぞ乗り切ってくれた」と選手をたたえていました。

安心・安全な毎日のために

ドクターヘリ運航開始！



ドクターヘリは、医療器具や医療品を装備し、医師・看護師が搭乗して救急現場などに向かい救命治療を行う専用のヘリコプターです。

ヘリポートに医師・看護師が待機し、消防機関からの要請で救急現場に出動。傷病者を適切な医療機関に搬送します。いち早く治療を開始することで傷病者の救命率の向上や、後遺症の軽減が図られ、中山間地の救急医療の充実強化につながります。

広島県では本年5月1日から運航を開始し、庄原市にも飛来し活動しています。庄原市は島根県の航空基地が近いので、島根県ドクターヘリを第1選択として要請（6月10日開始）します。

ドクターヘリの飛来に際し、交通規制などご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

暖房器具からの火災を防ごう！

暖房器具を使用する季節が近づいてきました。暖房器具を使用する前には必ず器具の点検をしましょう。また、次のことを守って使用しましょう。

- 暖房器具の周りに燃えやすいものを置かない。
- カーテンが接触しないようにする。
- ストーブの近くで洗濯物を干さない。
- 火を点けたまま移動しない。
- 給油するときは消火して行う。
- カートリッジ式タンクのもものは、タンクのふたを確実に締める。
- ガソリンと灯油を間違えて給油しない。
- 寝るときや外出時には必ず消す。



庄原消防署 ☎0824・72・9911
東城消防署 ☎08477・2・4005